



御前酒蔵元辻本店



隠れた人気の酒饗頭



西日本一の名瀑神庭の滝

DATA

問合せ先 勝山観光協会  
TEL 0867-44-2120  
JR 中国勝山駅前観光案内所に地図あり

# 中国勝山 町並み保存地区を歩く

若林 さち代

旧出雲街道沿いにある勝山は、藩政時代三浦氏二万三千石の城下町として栄え、その白壁の土蔵や格子造りの町並みが、今も古きよき佇まいを残している。岡山県から町並み保存地区に指定され、のれんで通りを飾るなど新しい工夫も取り入れられている。夕暮れ時には軒先に吊るされた提灯に灯りがともり、なんともいい風情を醸し出す。

また、3月3日には各家々が表にお雛様を飾って道行く人を楽しませてくれる。

## 船着き場のある風景

室町時代以降、岡山と勝山の間では生活物資の運搬は陸の交通よりも水上交通に頼っていた。家々(店



旭川の船着場



のれんのある風景

の裏には旭川が流れ、当時は高瀬船が行きかかって、荷の上げ下ろしをした船着場が今も残っている。また、川岸には船を上流に引いて帰る馬の歩く道もある。今はその川岸に春は菜の花が咲き、夏になれば鮎を釣る人の姿がちらほらと。

## のれんの揺れる町

勝山はまたのれんの町とも言われる。各店や民家の玄関先には屋号や紋のほか職業などの描かれた個性的なのれんがかかっている。そののれんを作っているのは加納容子さん営む「ひのき草木染工房」。店内に入ると大小様々、しつくりと落着

蔵を利用してレストランも経営している。その店内では毎月月代わりのコンサートや寿席などのイベントも行われ、ジューシーな作州牛のヒレステーキやラム酒の効いたフルーツケーキがおいしい。

## 酒まんじゅう 前田菓子店

御前酒蔵元の隣にあり、店の入り口には奥さんが手入れする山野草がかわいらしい。家族経営のため、一日に作る数が限られている酒まんじゅうで、甘さを抑えた上品な口当たりが隠れた人気だ。早く行かな

いと売切れてしまうこともある。話し好きな奥さんと世間話は勝山の旅に花を添えてくれるだろう。

## つえのだん(喫茶)

平成17年にオープン。町並み保存地区のメインストリートから脇にそれ、坂を登っていく。かつての醤油醸造元を改造して作られた店の入り口には、大きな醤油樽が置かれている。店内はカウンタートとテーブル席がありアンティークなものにも新しい息吹が感じられる。

御前酒を造り二百余年の歴史を持つ老舗蔵元。三浦藩に献上する清酒を造っていたので御前酒と言われるようになった。旭川のきれいな伏流水と岡山県産の「雄町米」を50%まで磨き、醸し出した吟醸酒「馨」は癖がなく、だれでも飲みやすいお酒。やや辛口でキレがあり薫り高い風味が自慢。また、本店では

## 御前酒蔵元 辻本店 & レストラン西蔵

## 神庭ノ滝(かんぱのたき)

勝山の町並み保存地区から北に約5kmにある立派な滝。駐車場で車を降りて20分、野生の猿が多く生息する沢沿いの道を登っていく。途中にある玉簾の滝は沢に張り出し、苔むした岩から、ポタポタと落ちる水があたかも玉すだれのよう。やがて木々の間に落差110m、幅20mの断崖絶壁を落ちる見事な滝が見えてくる。日本の滝百選に選ばれている西日本一の名瀑である。春の新緑、秋の紅葉、夏はひんやりとした空気が気持ちよい。遊歩道の入り口にある茶店では地元「ひやしあめ」が美味。黒蜜とシウウガ汁で作られた甘く冷たい飲み物だ。